小学６年生を対象に実施　　越前市教育委員会

「国語」・「算数」の力と学習や生活の様子

～『R8 全国学力・学習状況調査』から～

今年度は、国語、数学の学力調査が行われました。どちらの教科からも、学校での授業の工夫や家庭での学習支援の効果が表れています。
また、学習や生活に関する状況調査に関する結果について、越前市における傾向をまとめました。

🌸は良いところ ➽は伸ばしたいところ

【国語】

① 学習指導要領の内容における結果

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」の5つの内容からの出題でした。（「我が国の言語文化に関する事項」からの出題はありませんでした。）

🌸・・・すべての内容において全国の平均正答率を上回っています。
「思考力、判断力、表現力等」において、全国・県の平均正答率を上回っています。

【国語の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県　●越前市

■全国60.9

全国の平均を上回り、県とほぼ同じでした。

② 全国と比較して正答率の高かった問題

🌸・・・「話すこと・聞くこと」において、「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる」問題において、理解力の高さが見られました。目的や意図を意識して資料を活用することができている児童が多くいます。

🌸・・・「読むこと」において、「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」問題では、比較的上手にまとめられている児童が多かったです。自ら調べたことをまとめる活動や互いの発表資料を見合ったり、修正し合ったりする活動を国語科のみならず、様々な教科において学習に取り入れている効果が出ていると考えられます。

③ 課題

➽・・・「情報の扱い方に関する事項」において、文章の内容を正しく読み取り、事柄と事柄のつながりを図や表などを使って分かりやすくまとめることができるかをみる問題に課題が見られます。学習活動に合わせて、語句を丸で囲んだり、矢印を用いて関係性を示したりするような活動を取り入れます。また、友達と考えを伝え合う中で、情報を整理して表現する力を伸ばしていきます。

【算数】

① 学習指導要領の領域における結果

「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の5つの領域からの出題でした。

- ・・・すべての領域において、全国の平均正答率を上回っています。「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の領域において、県の平均正答率を上回っています。

【算数の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県　●越前市

■全国 56.4

全国の平均を上回り、
県とほぼ同じでした。

② 全国と比較して正答率の高かった問題

- ・・・「データの活用」の領域において、「表の数値を根拠に集計の誤りを説明する」問題がよくできています。二つの表に示された数値の関係に着目し、必要な情報を選択して比べたり、人数の整合性から誤りを判断したりすることができています。
- ・・・「数と計算」の領域において、「異分母の分数の大小関係を説明する問題がよくできています。異分母の分数の大小を比較する際、分母の違いに着目して単位分数の大きさを捉えたり、分数を量として捉えて大小関係を判断したりすることができています。

③ 課題

- ・・・「変化と関係」の領域において、百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることに課題が見られました。割合の意味や基準量・比較量・割合の関係を捉えるためには、基準量・比較量・割合の三つの関係を図や言葉で整理し、どの量を求める場面なのかを判断することが大切です。また、基準量・比較量・割合の三つの関係を基にして考えたことを言葉で説明し、求める量に応じて適切に式を立て、その根拠を説明できるようにすることが重要です。